

伊勢湾における取り組み紹介

令和7年2月28日
国土交通省 中部地方整備局
港湾空港部

伊勢湾再生推進会議事務局による取組の実施状況（1）
伊勢湾流域圏一斉モニタリング

【伊勢湾再生推進会議の目的】

閉鎖性水域である伊勢湾（三河湾含む）の再生のため、伊勢湾とその流域における森、川、海、都市それぞれの取組により、**健全な水・物質循環を取り戻し、水質及び生態系も改善・回復を図るとともに、水辺、海辺における人と水とのふれあいの機会を促進する**。そのために、総合的な伊勢湾再生への取組と地域活性化の醸成を重点に置いた総合的な「伊勢湾とその流域の環境改善」のための行動計画（伊勢湾再生行動計画）を策定し、これを推進するとともに定期的なフォローアップを行う。

◆伊勢湾流域圏一斉モニタリング

- ・昨年度と同様、令和6年7月1日～8月31日にかけて実施した。
- ・令和6年度は、簡易水質テスト・ごみ調査・生物調査は約46団体、635名以上の参加があった。
- ・参加団体の実施状況写真、感想やご意見等についても整理しており、令和7年度にHPでの公表を予定している。



伊勢湾流域圏とは…
伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域。（上図の水色および緑色で示した部分）



水質調査キット



調査結果の様子

実施の様子
(桑名市立光陵中学校)

【感想やご意見】

・全体から挙がった声としては「暑かった」という意見が多かったように思われる。そんな暑い中での調査となったが、「楽しかった」という声が多数出た。さらに魚も捕まえることができたということもあり、今回の調査はとても有意義なものになったと感じる。一部の人からは「外来種がいなかった」という意見も挙がった。水質については遠くから見ると若干濁っていたように感じたが、近くに行くと浅いところはしっかり底が見えたので、水質はあまり悪くないと言えるが、水質調査キットを使用して調査すると汚れが確認されたので、良いとも言えないという結果になった。

伊勢湾再生海域検討会と推進プログラムの概要

伊勢湾再生に向けた取組

伊勢湾再生海域検討会は、「伊勢湾再生推進会議」において採択された基本方針を受け、**海域の観点から行動計画に反映させるべき目標や施策などを具体的に検討していくために**、平成18年度に設置された組織である。伊勢湾再生海域検討会は、行政関係者と学識者、研究機関、地域住民、NPOが連携を図り、また、専門家等による意見を取り入れることのできる体制により検討を進めており、検討を推進するためのプログラム（伊勢湾再生海域推進プログラム）を策定している。

伊勢湾再生推進会議（H18.2～）

国土交通省、農林水産省、林野庁、水産庁、経済産業省
岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市、名古屋港管理組合
四日市港管理組合

伊勢湾再生行動計画
(H19.3～H29.3)

伊勢湾再生行動計画(第二期)
(H29.6～R9.3)

海域における再生手法や目標等を具体化

伊勢湾再生海域検討会（H18.3～）

学識者、NPO、漁業関係者、愛知県、三重県
(行動計画の海域施策を検討するために設置)

伊勢湾再生海域推進
プログラム
(H20.3～H30.3)

伊勢湾再生海域推進
プログラム(II期)
(H31.3～R9.3)

三河湾の検討に特化

三河湾部会（H21.7～）

学識者、NPO、漁業関係者、愛知県
(三河湾の検討に特化)

技術的課題解決に向けた検討の場

研究WG（H19～）

学識者、NPO、愛知県、三重県
(技術的検討に特化)

理解醸成に向けた検討・実践の場

活動WG（H19～）

学識者、NPO、漁業関係者
(啓蒙・啓発活動に特化)

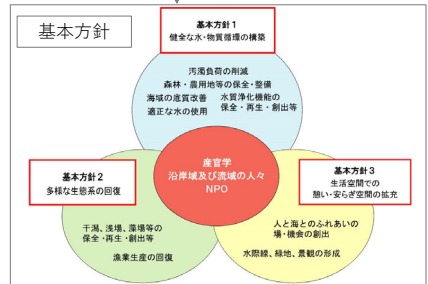


図1 検討体系図

伊勢湾再生海域検討会事務局による取組の実施状況（1）

10/15 伊勢湾・三河湾の水産資源に必要な栄養や生息場について考えるシンポジウム

- ◆令和6年10月15日(火)、名古屋港ポートビルにて「伊勢湾・三河湾の水産資源に必要な栄養や生息場について考えるシンポジウム」を中部地方整備局・愛知県の共催で開催し、約200名の方にご参加いただきました。
- ◆本シンポジウムでは、水産資源の回復に向けた栄養場の管理や藻場・干潟の生物生息場の環境など、伊勢湾・三河湾の再生について考えることを目的とし開催した。
- ◆基調講演では、名城大学大学院 特任教授の中田先生から、伊勢湾再生海域検討会で研究を行っている「伊勢湾シミュレーター」の成果についてご講演いただきました。
- ◆また、その他の報告と話題提供としては、伊勢湾再生に関する活動の継続的なPRが重要であることや、栄養塩不足に対する取組、藻場を増やすための取組についてお話をいただいた。
- ◆シンポジウムの最後には「伊勢湾再生に向けて、いま私たちにできること」と題し、パネルディスカッションを行い、会場の参加者からの意見も交えた議論がなされた。
- ◆今後も、伊勢湾の再生に向けてこのような活動を継続的に実施していきたい。

【開催概要】

- 日時：令和6年10月15日（火）14:00～17:00
- 会場：名古屋港ポートビル
- 内容：(1) 開会挨拶 愛知県農業水産局 局長 今田 幹雄
- (2) 主催者挨拶 中部地方整備局 副局長 西尾 保之
- (3) 来賓挨拶 愛知県漁業協同組合連合会 代表理事会長 山下 三千男
- (4) 基調講演 名城大学大学院 特任教授 中田 喜三郎
- (5) 取組紹介(2題) 日本福祉大学国際学部 特任教授 千頭 聡
愛知県農業水産局 水産課長 柴田 晋作
- (6) 話題提供(2題) 日本製鉄株式会社 上席主幹 田崎 智晶
NPO法人SEA藻 プロジェクトリーダー 鈴木 望海
- (7) パネルディスカッション

【基調講演】



中田 特任教授

【取組紹介①】



千頭 特任教授

【取組紹介②】



柴田 水産課長

【話題提供①】



田崎 上席主幹

【話題提供②】



鈴木 プロジェクトリーダー

（1）活動WGにおける今後の取組・連携の検討（案）

- ・伊勢湾における環境活動の拠点等を以下に示し、平成30年度以降実施してきた継続的な取組（環境活動支援、情報発信の発信）の実施個所に●印を記している。
- ・ブルーカーボンや藻場・干潟の保全・再生活動の支援を想定して、今後連携が必要となる水産試験場等の拠点に○印を記している（右図）。
- ・今後の伊勢湾再生の環境活動推進の検討にあたり、対象や地域に偏りが生じないように、伊勢湾全体を仮に7エリアに区分けしている。

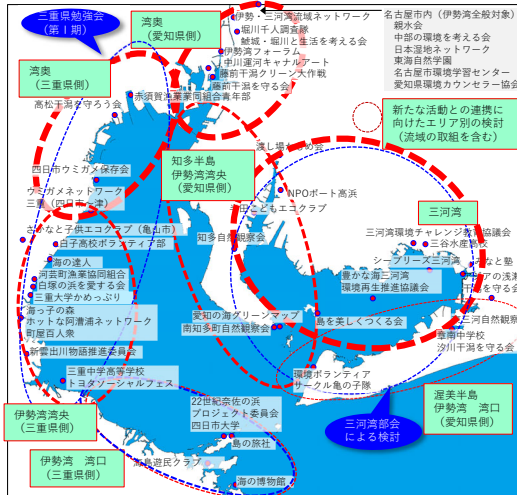


図1 伊勢湾における環境活動団体の分布とエリア（案）

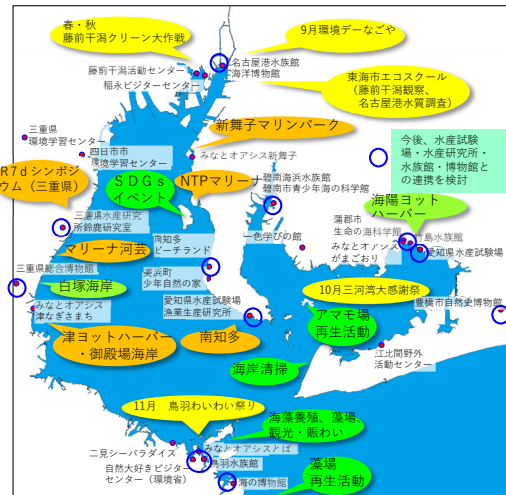


図2 伊勢湾における体験・学習拠点等の分布と連携候補（案）

4

（1）継続的な取組の実施状況（検討会事務局による環境活動、イベント出展等の啓発活動）

①地域協働講座の支援・実施

東海市エコスクール（年2回）

- 1）春～夏：干潟の生きもの観察 ※R6dは中止（藤前干潟・稲永センター等）
- 2）夏：水質調査・乗船体験（名古屋港）



写真2 東海市エコスクール

②伊勢湾再生のPR活動の実施

（新型コロナウイルス感染拡大により中止時期有）

1）環境デーなごやへの出展

- ・令和2、3年会場開催（9月予定）→中止、WEB開催に変更
- ・令和4年会場開催（9/17実施）
- ・令和5年会場開催（9/16実施）
- ・令和6年会場開催（9/14実施）



写真3 SDGsスタンプラリーに出展

2）三河湾大感謝祭への出展

- ・第5回：平成30年10月30日実施（蒲郡市民会館）（伊勢湾再生の取組紹介と環境クイズ）
- ・第6回：令和元年10月21日実施（大浜漁港）
- ・第7回：令和2年予定→中止
- ・第8回：令和3年10月24日実施（海陽ヨットハーバー/蒲郡市）
- ・第9回：令和4年10月9日実施（一色さかな広場/西尾市）
- ・第10回：令和5年10月14日実施（ラグララン/田原市）
- ・第11回：令和6年10月6日実施（西浦温泉バームビーチ）：三河湾事務所と共同展示



写真1 三河湾大感謝祭

③環境活動等の情報収集、新たな取組

④PR資料の作成

海域検討会の取組を紹介する資料、環境学習教材の作成・展示等

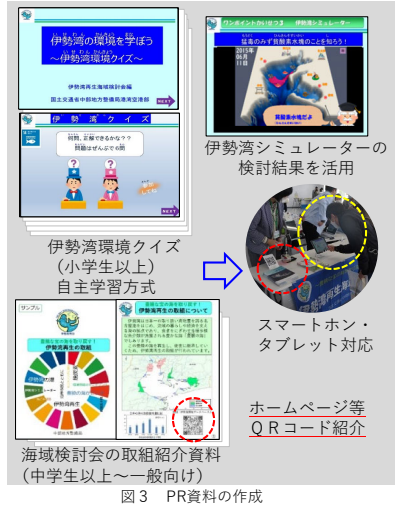


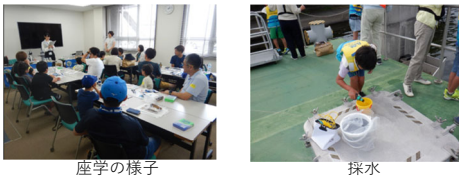
図3 PR資料の作成

5

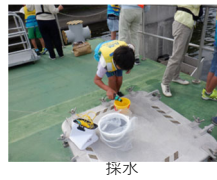
①地域協働講座の支援・実施

①-1 東海市エコスクール（名古屋港水質調査）

開催時の様子



座学の様子



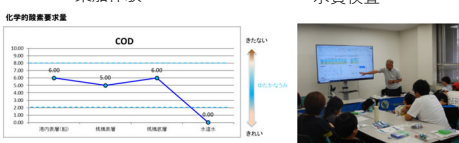
採水



乗船体験



水質検査

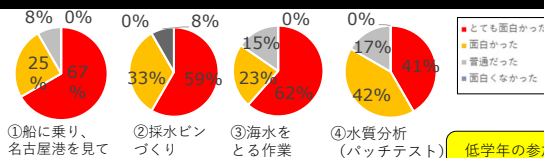


水質調査結果の集計と講評

- 開催概要
- ・開催日時：令和6年8月19日（月） 13:30～17:05
- ・開催場所：名古屋港事務所、名古屋港内
- ・当日参加人数：22人（子供12人）

アンケート結果（抜粋）

回答（子供）；参加者12名（不足分は無回答者）



①船に乗り、名古屋港を見て回ったこと

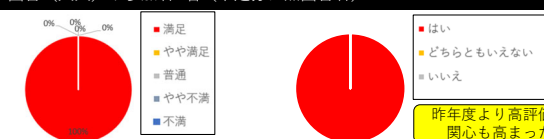
②採水ビンづくり

③海水をとる作業

④水質分析（パッチテスト）

低学年の参加が多かった

回答（大人）；参加者9名（不足分は無回答者）



今回の講座はどうだったか（アンケート記載の声）

今回の講座に参加して、環境問題への興味・関心は強まったか

- ・船に乗って楽しかった（多数）。採水ビンづくりがとても楽しかった（複数）。
- ・船の運転席をみられたからよかった。釣りの好きな人だけで魚のいる場所などを調べたい。海水をとる作業の時「ポン」ってやるのが一番楽しかった。
- ・（保護者）船に乗れたこと。水を採る作業が楽しかった。
- ・海について深く考えるきっかけになった。船に乗れたり海の問題がわかった。
- ・なかなか体験できないことができて良かった。子供が楽しく学ぶことが出来る。
- ・子供には設問内容が難しかった。・ちょっと長いと思いました。

小学4年生以上が対象の為、低学年者には内容・アンケートが難しい。

6

②伊勢湾再生のPR活動の実施

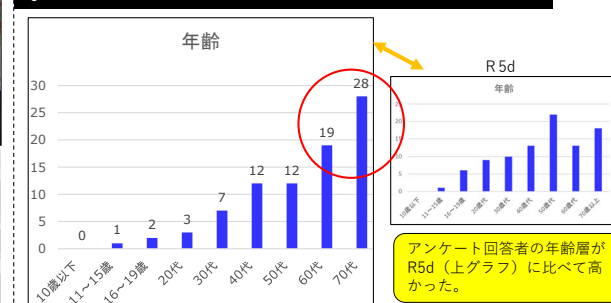
②-1 環境デーなごや2024（その1）

開催時の様子

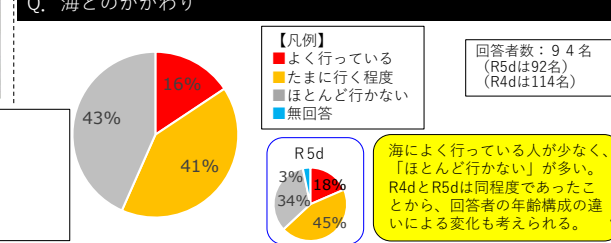


アンケート結果①（来場者の基本情報）

Q. あなたの年齢は



Q. 海とのかかわり



- 開催概要
- ・開催日時：令和6年9月14日（土） 10:00～15:00（例年より閉会時間は1時間繰り上げ）
- ・開催場所：久屋大通公園（伊勢湾再生ブースはエンゼル広場に出展）
- ・伊勢湾再生ブースアンケート回収数：94人

海によく行っている人が少なく、「ほとんど行かない」が多い。R4dとR5dは同程度であったことから、回答者の年齢構成の違いによる変化も考えられる。

②伊勢湾再生のP R活動の実施

②-2) 第11回三河湾大感謝祭（その1）

開催時の様子

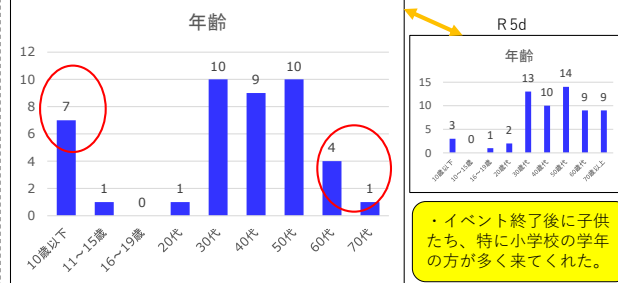


三河湾事務所と連携したブース出展の様子

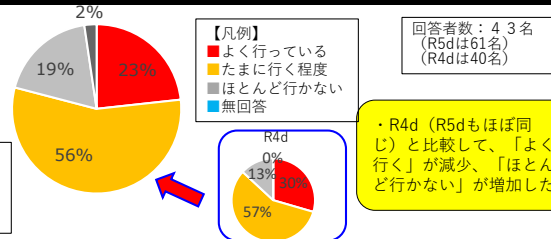
- 開催概要
- ・開催日時：令和6年10月6日(日) 10:00～16:00
 - ・開催場所：西浦温泉バームビーチ
 - ・伊勢湾再生ブースアンケート回収数：43人

アンケート結果①（来場者の基本情報）

Q. あなたの年齢は



Q. 海とのかかわり



8

P R用グッズ 海藻しおり工作体験、缶バッジ、船舶ペーパークラフト

◆海藻しおり工作体験

材料：アクリルしおり、シール、紐、あおり、あおさ、布海苔(ふのり) ↓ 完成品



◆缶バッジ



原画は、鳥羽相差の海女 中田文美さん作

◆白龍・清瀧丸ペーパークラフト



清瀧丸

9

参考資料

参考資料 伊勢湾再生海域検討会と推進プログラムの概要

(1) 伊勢湾再生海域検討会等の第Ⅱ期の検討内容と体制および開催状況

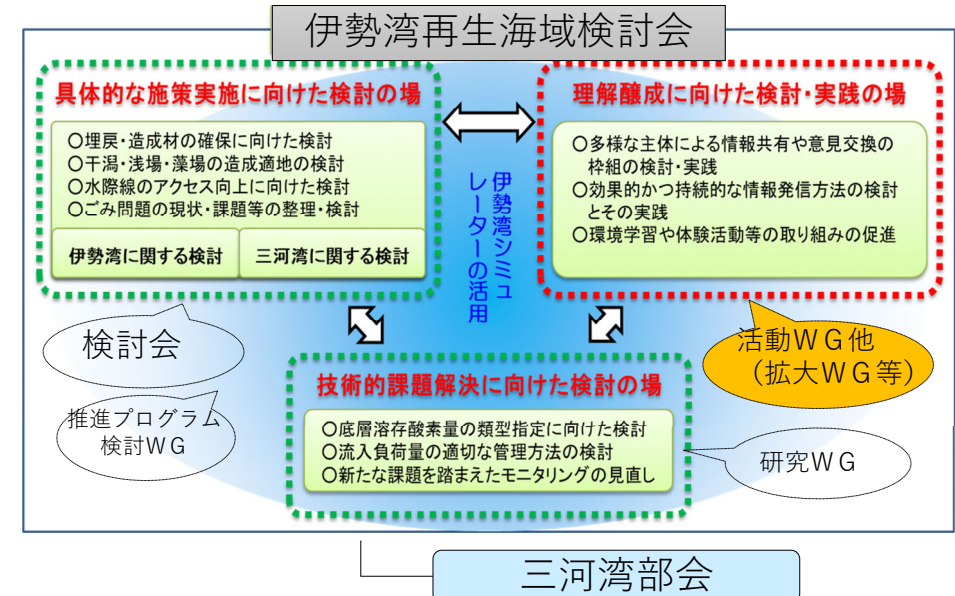


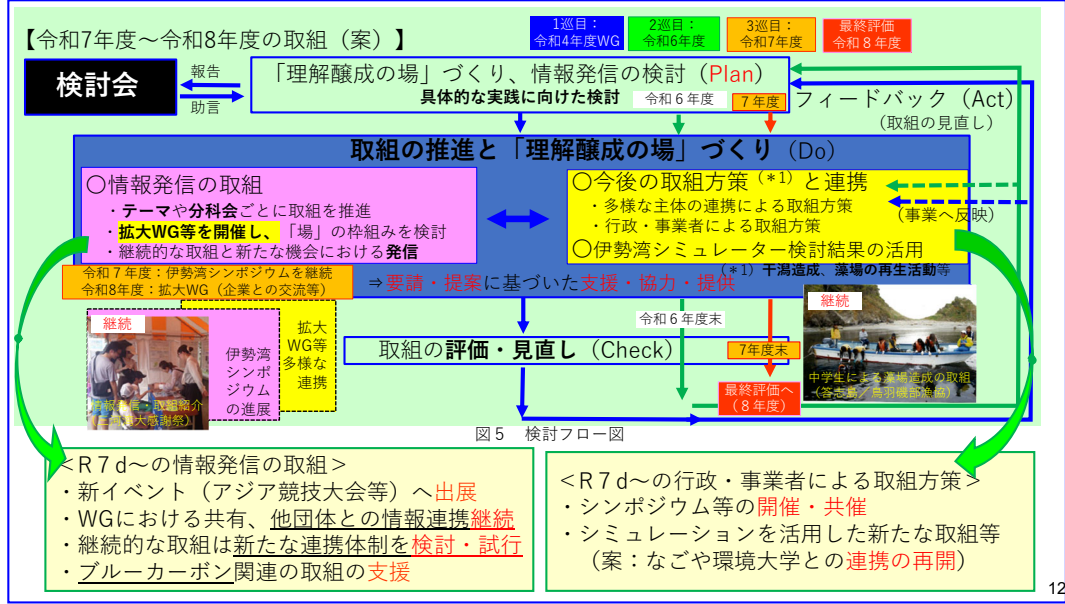
図4 伊勢湾再生海域検討会の検討内容と検討体制

11

今後について 令和7年度以降の方針（案）2

（2）検討フロー図（案）と理解醸成の場づくりに向けた試行（最終評価までの取組案）

令和6年度の実施結果から、令和7年度から令和8年度の検討は、以下の通りとする。

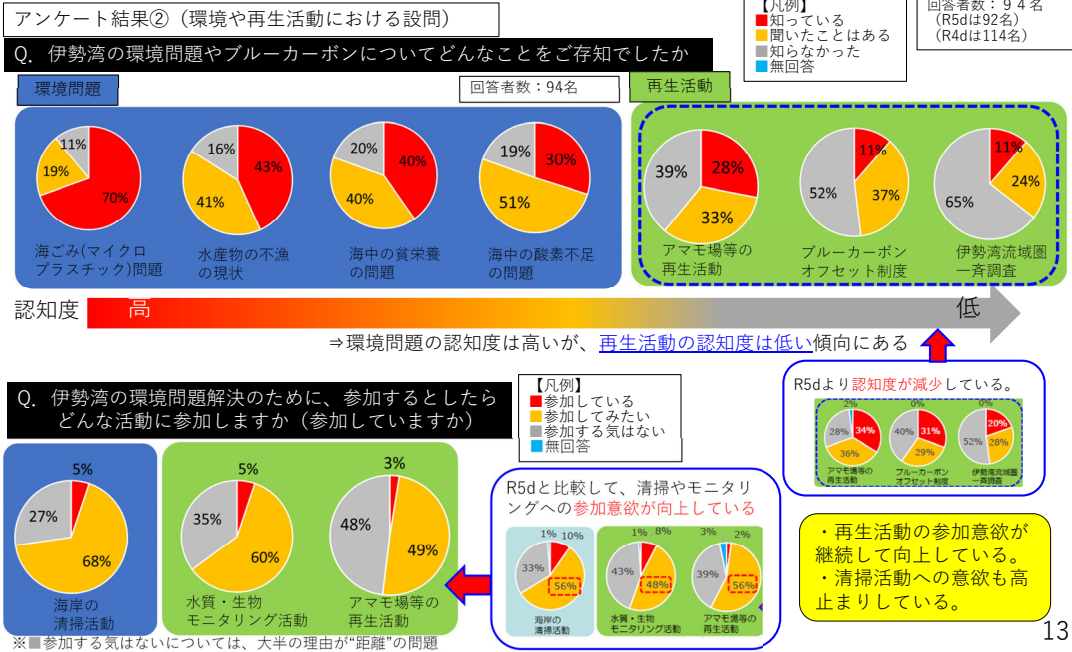


12

伊勢湾再生海域検討会事務局による取組の実施状況（8）

②伊勢湾再生のPR活動の実施

②-1）環境デーなごや2024（その2）

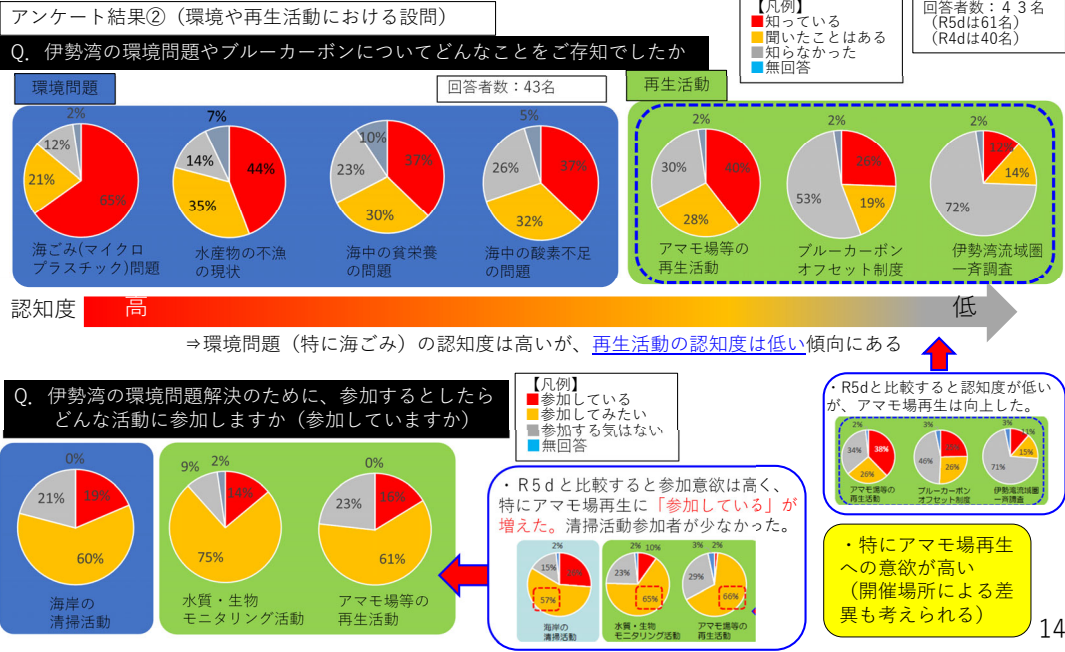


13

伊勢湾再生海域検討会事務局による取組の実施状況（9）

②伊勢湾再生のPR活動の実施

②-2）第11回三河湾大感謝祭（その2）



14